

令和7年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

出納室
71p

大事業名	会計管理事業	款	項	目
		総務費	総務管理費	会計管理費
総合まちづくり計画	基本指針	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”		
	基本施策	住民のQoL向上をめざしたコンパクトなまちづくり		
	施策	持続可能な行財政運営の推進		
	個別計画			

1. 概要

事業内容	会計管理事業
対象	歳入歳出に関する出納業務
意図・目的	会計管理業務の円滑な遂行

2. 構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R06決算	R07決算	うち特定財源
1	会計管理事業	・ 歳入歳出の出納に関すること ・ 現金、保証金及び有価証券の出納保管に関すること ・ 現金及び財産の記録管理に関すること ・ 支出負担行為の確認や支出命令等の審査に関すること ・ 歳入歳出決算書の作成に関すること ・ 源泉徴収所得税に関すること ・ その他会計管理者の事務に関すること	13,366	14,638	0

3. 主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

歳入歳出に関する出納業務及び会計書類審査を適切に行い、データ伝送等により効率的な事務執行を行った。また、歳入歳出決算書の調製について、適正に事務を執行した。 主な事業費：歳入歳出決算書の調整・印刷 165,000円、指定金融機関派出事務取扱手数料 12,045,000円、金融機関口座振込手数料 1,913,027円

4. 課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5. 総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6. 改善の方向性

--

総合まちづくり計画	基本指針	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”	関連指標	
	基本施策	住民のQoL向上をめざしたコンパクトなまちづくり		
	施策	持続可能な行財政運営の推進		
	個別計画			

1. 概要

事業内容	西地区の総合窓口としての支所運営を適正に行う。
対象	西地区住民等
意図・目的	西地区住民の行政手続等の利便性を増進するとともに住民サービスの向上を図る。

2. 構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R06決算	R07決算	うち特定財源
1	支所事務事業	①戸籍、住民基本台帳関係の各種受付 ②マイナンバーカード関係の各種受付 ③税務関係の各種受付 ④国民健康保険、後期高齢者医療保険、介護保険関係の各種受付 ⑤年金関係の各種受付 ⑥福祉医療関係の各種受付 ⑦その他町行政に係る各種受付	449	443	0

3. 主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

各々が作成及び改訂した事務処理マニュアルを職員間で共有化した結果、事務処理が効率化し、住民サービスの向上を図ることができた。また、2016年（平成28年）1月からマイナンバーカード交付が開始され10年を迎え（カード有効期間10年）、カード更新者が増えたことにより、マイナンバーカード関連業務受付件数が昨年度より増加したが、職員間での協力のもと万全に住民サービスに応えることができた。

令和7年度 マイナンバーカード関連業務受付件数	5,730 件
各業務受付件数（マイナンバーカードを除く）	8,014 件
証明書発行件数	9,621 件
キャッシュレス決済件数	358 件

4. 課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	有	制度改正等により窓口業務が複雑・多様化しており、証明書発行以外にも相談業務等が増加していることから、対応に時間を要するケースが増加している。	複雑・多岐にわたる業務と多様化する住民ニーズ
	事業内容	有		
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	対応に時間を要する窓口業務が増加し、待ち時間の増加が懸念される。また、今後も引き続き収納窓口の対応もさらに必要となる為、混雑時には収納窓口が手薄になる。収納窓口専属の職員を確保できるのか模索中である。	新たな制度の創設や見直しにより各種制度が複雑化しており、その結果相談者が増加する傾向にある。また、三井住友銀行撤退に伴い、職員による収納窓口の対応が引き続き必要になってくる。
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5. 総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6. 改善の方向性

来庁者に良質なサービスが提供できるよう、制度改正を盛り込んだ事務処理マニュアルを改訂するとともに、複雑・多様化する住民ニーズに迅速かつ的確に対応できるよう、組織間の連携や職務に精通した職員の育成に努めていく。

令和7年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
吉川支所
81p

大事業名	支所庁舎管理事業	款	項	目
		総務費	総務管理費	支所費
総合まちづくり計画	基本指針	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”		
	基本施策	住民のQoL向上をめざしたコンパクトなまちづくり		
	施策	持続可能な行財政運営の推進		
	個別計画	吉川支所 補修・改修計画		

1. 概要

事業内容	西地区の総合窓口として支所庁舎管理を適正に行う。
対象	西地区住民及び利害関係者
意図・目的	西地区住民の利便性を増進するため庁舎管理等を行い、住民サービスの向上を図る。

2. 構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R06決算	R07決算	うち特定財源
1	支所庁舎管理事業	①支所庁舎機能の維持・管理 ②支所庁舎環境の維持・管理	5,249	5,463	1,275

3. 主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

定期的に庁舎等の維持管理作業を行うことで、来庁者が快適に利用できる環境を整備できた。
--

4. 課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	有	平成27年度に大規模改修工事を行ったが、今後も設備等の補修が必要である。	経年劣化等による要補修箇所が散見される。
	事業内容	有		
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	西地区の総合窓口としての施設の充実を図る必要があるが、バリアフリーに対応していない。	2階への移動経路が階段のみであり、エレベーター等の設備が設置されていない。
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5. 総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6. 改善の方向性

吉川支所の庁舎管理を適正に行うため、「吉川支所 補修・改善計画」に基づき、毎年計画的に補修及び改修を実施する。
